

『平成 18 年 1 月 1 日から平成 27 年 3 月 31 日の間に当院において臍帯血移植を受けられた患者さんへのお知らせ』

<臍帯血移植における前処置としての抗ヒト胸腺細胞ウサギ免疫グロブリン(ATG)の有用性>

当教室では、川崎医科大学・同附属病院倫理委員会の承認を得て、上記の期間に当院において臍帯血移植を受けられた患者さんについて、移植前処置として抗ヒト胸腺細胞ウサギ免疫グロブリン(ATG)の使用の有無ごとの治療成績を調査し、ATG が臍帯血移植の前処置として有用であるかを検討するための後方視的調査研究を実施します。

本研究の調査実施期間は倫理委員会承認日より平成 30 年 3 月 31 日の予定です。

1. 治療介入を行わない後方視的観察研究で、既存資料のみを用いた研究であり、新たに人体試料は採取しません。個人が直接同定されうる情報は収集いたしません。

2. 研究をするために必要な資金をスポンサー（製薬会社等）から提供してもらうことにより、その結果の判断に利害が発生し、結果の判断にひずみが起こりかねない状態を利益相反状態といいます。この研究では学内研究費（教室費および教員研究費）のみを用いるため、深刻な利益相反の状態にはなっていません。

なお、本研究とは直接の関係はありませんが、血液内科学教室として Meiji Seika フアルマ株式会社、大日本住友製薬株式会社、大塚製薬株式会社、一般社団法人日本血液製剤機構、ブリストル・マイヤーズ株式会社、アステラス製薬株式会社、中外製薬株式会社、MSD 株式会社、協和発酵キリン株式会社、塩野義製薬株式会社、アレクシオンファーマ合同会社から奨学寄付金を受領しています。このことについては事前に本学の利益相反委員会へ申告し、適正に管理されています。

3. 研究に関してご質問のある方、同意をいただけない方は、下記までご一報下さいますようお願い致します。

問い合わせ先：血液内科 医長 松橋 佳子

電子メール hematol@med.kawasaki-m.ac.jp

TEL 086-462-1111 (内線 27513)

FAX 086-464-1194